

# 引退電車、長野を走る



今年2月を最後に東京メトロ日比谷線から引退した2代目車両が、長野県北部を走る地方鉄道、長野電鉄に「デビュー」した。独自の新車両製造にはコストがかかることから、同社が現在運行するのは、全て他社から譲渡を受けた中古車両。日比谷線の初代車両や小田急「ロマンスカー」、JR東日本の「成田エクスプレス」だった車両も長野では現役で、懐かしい電車が走る姿を見ようと鉄道ファンも訪れる。

**県北部、温泉地に向かうローカル鉄道**

日比谷線の2代目だった車両と温泉地の湯田中を結ぶ長野線は、側面のグレーのラインを残しつつ、前面に長野電鉄のイメージカラーの赤を加えた。もとの8両編成から、短い3両編成になり、「マッコウクジラ」の愛称を持つ日比谷線の初代車両と、駅で並ぶこともある。

長野電鉄は、今年で創立100周年。志賀高原のスキー客らでにぎわった1960年代には、年間の輸送人員が2千万人を超えた時もあったが、マイカーの普及とともに利用客は次第に減り、一部の路線は廃止に。現在は長野市

半世紀近く長野電鉄を撮影してきた長野市の小林光一さん(65)は「長電は首都圏を走った車両の博物館みたいだ。路線がなくなれば地域がしぼんでいってしまう。今ある車両を生かして多くのお客さんを集め、長野線自体も存続させてほしい」と話している。

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

## なまえ【 】

① 引退電車が走っている地方鉄道の名前を書きましょう。

② ①の鉄道は今年で創立何周年ですか。  周年

③ ①の鉄道を走っている車両を書きましょう。

小   「       」

J    「        」

東       日    2代目車両と

初代車両、通称

④ なぜ引退した車両が走っているのでしょうか。

を下げるためと         の乗ってもらい

路線を存続させるため。